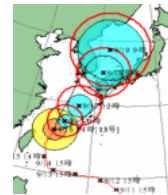


台風期における保安対策について



中国四国産業保安監督部四国支部

電力・ガス関係等各事業所、鉱山及び製錬場におかれましては、平素より事故、危害及び鉱害等の未然防止に万全の措置を講じておられることと思いますが、台風期を迎えるにあたり、状況に応じた施設の点検を重点的に実施し、適切な措置を講じるとともに、監視体制を一層強化し、暴風雨等による事故、危害及び鉱害等の防止に万全を期してください。

なお、鉱山及び製錬場におかれましては、大雨警報等が発令されたときには、被害の有無にかかわらず、その状況を電話等により当支部鉱山保安課まで速やかに報告してください。



(1) 今後の四国地方3ヶ月予報 (2) 防災気象情報の活用 (3) 大雨や洪水などの気象警報・注意報の改善についてを参考までに掲載します。ご活用下さい。



(1) 四国地方3か月予報
(7月から9月までの天候見通し)



平成21年6月24日
高松地方気象台発表

予想される向こう3か月の天候

- 【7月】 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
- 【8月】 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。雷雨の発生しやすい時期がある見込みです。
- 【9月】 天気は、数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)

【気温】

3か月	20%	40%	40%
7月	20%	30%	50%
8月	30%	40%	30%
9月	20%	40%	40%

凡例

低(少)
平年並
高(多)

【降水量】

3か月	30%	40%	30%
7月	40%	40%	20%
8月	30%	40%	30%
9月	30%	40%	30%

<参考資料>

(1) 梅雨入りと梅雨明けの平年値 (2010年までの過去の30年平均)

	梅雨入り	梅雨明け
四国地方	6月5日ごろ	7月18日ごろ

(2) 接近する台風の平年値 (2010年までの過去の30年平均)

	7月	8月	9月
四国地方	0.6	1.0	0.9

(2) 防災気象情報の活用について

気象庁は、災害を防止・軽減するために警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表し、注意や警戒を呼びかけています。

これら防災気象情報を、災害から身を守るために、より一層有効に活用するには、どんなときにどんな情報が発表されるのかを知っておく必要があります。

大雨が予想された場合の各種防災気象情報の内容とタイミングが分かりやすく示している図がありましたのでご紹介します。

必ずこのような順序で発表されるとは限りませんが、どんなときにどんな情報が発表されるのかをイメージするのに大変役立つと思います。ご活用下さい。

なお、大雨の場合以外にもお知りになりたいときは、気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp>)をご覧ください。



各種防災気象情報のタイミングの例

(3) 大雨や洪水などの気象警報・注意報の改善について

気象庁では大雨警報などの気象警報・注意報を、これまで都道府県をいくつかに分けた区域を対象に発表してきましたが、平成22年5月27日(木)13時から、「〇〇市に大雨警報を発表」のように、すべての気象警報・注意報について原則として個別の市町村を対象として発表しています。

また、大雨警報を発表する際には、特に警戒を要する災害を、「大雨警報(土砂災害)」、「大雨警報(浸水害)」のように警報名と併せて発表しています。

これにより、警戒の必要な市町が明確になるなど、効果的な防災対応ができますので、ご活用下さい。